

飯高波瀬森地区コミュニティバス運行業務委託 仕様書

1. 業 務 名 飯高波瀬森地区コミュニティバス運行業務委託

2. 目的業務 飯高波瀬・森地区においてコミュニティバスの運行及び車両の管理業務等を委託する。

3. 一般事項

- (1) 業務実施にあたって受託者は、委託者と十分打ち合わせの上実行すること。
- (2) 業務遂行にあたっては、道路運送法、道路交通法、道路法及びその他関係法令（労働基準法等労務管理を含む）を遵守すること。
- (3) 業務上知り得た秘密は、第三者に漏らしてはならない。
- (4) 業務実施上、仕様書に明示なくとも業務遂行上当然必要と認められる事項については、受託者の責において処理するものとする。
- (5) 業務遂行上において疑義が生じた場合は、受託者は委託者と協議し、その指示に従い対処するものとする。

4. 運行内容

- (1) 道路運送法（昭和 26 年法律第 183 号）第 78 条第 2 号に規定する自家用有償旅客運送で、同法第 79 条の登録を受けた路線の有償運行を行う。
- (2) 業務期間は、平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日とする。
- (3) 運行路線は、別紙 1「飯高波瀬・森線運行路線図」のとおりとする。
※定時路線と予約路線（デマンド）を併用した路線の運行。
- (4) 運行時刻は、別紙 2「飯高波瀬・森線運行時刻表」のとおりとする。
※運行休止日：土・日・祝日・年末年始(12/30～1/4)。
※運行日数：243日
- (5) 市が提供する自家用自動車（運行車両）での運行及び管理を行う。
※平成 22 年 6 月初年度登録の 10 人乗り普通乗用車（ハイース・2.69ℓガソリン車）

5. 業務委託額の積算内容（別表 1「平成 28 年度飯高波瀬森コミュニティバス運行業務委託精算表」参照）

- (1) 運行路線及び運行時刻に掲載している予約部分を含めた全ルート及び全便を平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの期間運行する金額で積算する。但し、土・日・祝日・年末年始(12/30～1/4)は運行しない。
- (2) 入札金額は、運賃収入を含まない額とし、基礎運行経費を日割りで算出できる単価で積算し、予約分の全金額 530,712 円を足した額とする。
- (3) 予約路線の区間（A～E 区間）は別紙 1「飯高波瀬・森線運行路線図」のとおりとする。

6. デマンドの精算方法

デマンドは、区間を5区間に分け、それぞれの区間の運行回数の実績で業務委託額を精算する。

※予約路線の分岐点(A～Dの4地点)は別紙1「飯高波瀬森線運行路線図」のとおりとし、以下の単価に運行回数の実績を乗じて精算する。

A区間：36円 B区間：52円 C区間：108円
D区間：100円 E区間：68円

※区間距離等は別紙3「飯高波瀬森線運行距離表」を参照。

7. 業務内容

(1) 運行管理者

受託者は、運転手とは別に、運行管理の責任者を選任し、次に掲げる業務を行なうこと。

- ・道路運送法施行規則第51条の16第1項に規定する要件を備えないものに運転させないこと。
- ・運転者に対して、道路運送法施行規則第51条の16第2項の適性診断を受けさせること。
- ・運行開始前に、運転者に対し対面(TV電話の使用可)により次の確認を行い、指示を与え、記録し及びその記録を保存すること。

疾病、疲労、飲酒その他の理由により安全な運転をすることができないおそれの有無を確認し、運行の安全を確保するために必要な指示を与え、運転者ごとに確認を行なった旨及び指示の内容を記録し、かつその記録を1年間保存すること。

- ・運転者に対し、次の乗務記録等を作成させ、その記録を保存すること。

運転者の氏名、乗務した自家用有償旅客運送自動車の自動車登録番号その他の当該自家用有償旅客運送自動車を識別できる表示。乗務の開始及び終了の地点及び日時並びに主な経過地点及び乗務した距離。道路交通法第67条第2項に規定する交通事故もしくは、自動車事故報告規則第2条に規定する事故又は異常な状態が発生した場合にあっては、その概要及び原因。

- ・次のことを記載した運転者台帳を作成すること。

運転者の氏名、生年月日及び住所、運転免許書の写し、運転者の健康状態

- ・次に掲げる事故の記録の作成、及びその記録の保存

運転者の氏名、自家用有償旅客運送自動車の自動車登録番号その他の当該自家用有償旅客運送自動車を識別できる表示、事故の発生日時、事故の発生場所、事故の当事者の氏名、事故の概要(損害の程度を含む)、事故の原因、再発防止策

(2) 運行車両

車両は1台(10人乗り)で、使用の本拠の位置は松阪市飯高地域振興局波瀬出張所(松阪市飯高町波瀬148番地 林業センター内: 定時路線の最西のバス停留所)とする。

但し、使用の本拠の位置については、道路運送法の許す範囲において市と運行事業者の協議により変更できるものとする。

(3) 車両の運転及び労務管理

①運転者及び代務運転者の手配

②運転者の要件

第二種免許を有している者、若しくは第一種免許で市町村運営有償運送等運転者講習を修了している者

※落札した運行事業者は、運転者及び代務運転者について、契約後直ちに第二種免許所持者は免許証の写しを 3 部、第一種免許所持者は市町村運営有償運送等運転者講習の修了証書と免許証の写しを 3 部提出し、運行事業者の住所を記した書面を提出すること。

③車両の運行日誌を作成し、運行月の翌月 5 日までに運行日誌の写しを提出すること。

④乗務員台帳を作成し、指導記録簿を保管すること。

⑤運転者に定期的な健康診断及び適正診断を受診させること。

(4) 運行車両の管理

①車両の保全とメンテナンス

法定点検整備、洗車、保全整備、タイヤ・バッテリーの購入と交換、消耗・磨耗品の交換（車検は、有効期限が平成 29 年 6 月）

1 ヶ月に 1 回以上は車両保全整備、洗車を行なうこと。

冬季はスタッドレスタイヤを装着すること。

②車両の修繕について

別添に定める部分については、松阪市で負担を行なうが、それ以外の故障・修繕については、受託者が負担すること。

③車両整備管理責任者の報告

落札した運行事業者は、契約後直ちに車両整備管理責任者の氏名及び車両整備管理責任者が所属する事業所の住所を記した書面を提出すること。

④燃料油脂等の購入と補給

⑤自動車任意保険の加入と事故処理等

○任意保険の内容

対人賠償（無制限）、対物賠償（無制限）、人身障害（1 名につき 5 千万円）、車両は時価。

※車両一別紙「自動車検査証の写し」を参照

※落札した運行事業者は、運行開始までに「加入保険証」の写しを提出すること。

○事故処理

事故が発生した場合、事故の交渉・補償等の処理を行うこと。

○苦情処理責任者及び苦情処理担当者の報告

※落札した運行事業者は、契約後直ちに苦情処理責任者及び苦情処理担当者の氏名及び苦情処理責任者と苦情処理担当者が所属する事業所の住所を記した書面を提出すること。

⑥契約終了後の車両引き渡し時、サマータイヤ、スタッドレスタイヤともに 5 mm 以上の残量を残したタイヤとすること。

(5) 予約の受付

①デマンドにおけるバス停の予約受付及び配車

予約受付は原則として各バス停留所発車時刻の 1 時間前までとする。但し、1 便目については、前日の午後 8 時 30 分までとする。

②予約に必要な通信機器の設置（携帯電話等「交通法令の遵守」）

③落札した運行事業者は、契約後直ちに予約の問合せ先及び予約先の電話番号を記した書面を提出すること。

(6) 乗降者等の報告

①乗降者数及び収入等を記載した次の帳票（市の帳票）を運行月の翌月 5 日までにインターネット（メール）で報告するものとする。

※乗降者数及び収入

※各バス停留所利用状況

※時間帯別利用状況（乗車）

※時間帯及び停留所別乗降状況

(7) 回数券の販売管理及び運賃管理業務を行う。

※運賃収入と回数券販売収入については、受託者の預かりとする。

(8) その他

①運行中の車両と連絡可能な通信機器の設置（携帯電話等「交通法令の遵守」）

②運賃箱を設置すること

③その他、運行上必要な機器の設置

7. 契約金額と委託料の支払

当初の契約金額は、デマンドの部分を全て運行したものとして契約する。最終的な契約金額は、運賃収入（回数券販売収入を含む）とデマンドで運行しなかった分を差し引いた額への変更を年度末に行なうこととする。

※別表 1 「平成 28 年度飯高波瀬森コミュニティバス運行業務委託精算表」での精算

委託料は、委託者の定める手続きに従い委託料の支払を請求するものとし、支払は、半期に一度とする。（4月～9月分：10月払い、10月～翌3月分：4月払い）

8. その他

運行形態（特に予約に関する運行形態）は、落札した運行事業者と協議するものとする。また、ダイヤ変更等がある場合は、受託者は委託者と協議し、その指示に従い対処するものとする。

運行距離については、交通政策室で計測した距離であり、入札に当たっては、実走して距離を計測しその距離で入札すること。

運行開始までに十分な下見、練習を行なうこと。